

山陰の、こんな美しいふるさとを守りたい！

eco's 通信

2026

5

vol.390

©Tottori Pref.



砂の絶景と体験を楽しむ 「鳥取砂丘」



日本海に面した広大な砂の景勝地「鳥取砂丘」。国の天然記念物にも指定されています。気候のよい5月頃は、散策を楽しむのにおすすめの時期です。

まずは「砂丘センター見晴らしの丘」からリフトに乗り、高台からの景色を楽しみつつ砂丘へ向かいます。到着すると、目の前には広大な砂丘が広がります。足元はすべて砂のため、靴の中に入りやすく、歩きやすい服装で出かけると安心です。

風によって描かれる美しい砂の模様「風紋」や、この地ならではの植物も見どころです。こうした自然の景観を楽しむだけでなく、多彩なアクティビティも体験できます。ラクダに乗ることもでき、特別な思い出づくりにもぴったりです。予約が必要な場合もあるため、公式サイトなどをご確認ください。

昼間とはまた違った魅力として、夕刻も見逃せません。「馬の背」と呼ばれる高さ約47メートルの砂丘は、登るのは少し大変ですが、頂上からは美しい夕陽を眺めることができます。茜色に染まる日本海の景色は格別で、日本の夕陽百選にも選ばれています。一日を通して、そして一年を通して楽しめる鳥取砂丘。ぜひ一度、訪れてみてはいかがでしょうか。



こんな活動をしています！

早めの熱中症対策を！

2025年6月に企業の熱中症対策が義務化され、各社では室内外を問わず、様々な対策に取り組んでいます。対策用品も多数商品化されていますが、それだけでは万全ではありません。気温や湿度を把握し、こまめな休憩と水分補給を確実に行うことが重要です。5月から真夏日となるところもあり、6月以降も昨年以上の暑さになるとの予報も出ています。酷暑を乗り切るためにも、今から「暑熱順化」をすることが大切です。ウォーキングやジョギング、入浴など、日常生活の中で汗をかく機会を増やし、体を暑さに慣れさせましょう。

暑さに負けない体づくり



料金後納郵便

eco's
通信社長雑記
日々つれづれ

パン屋からの繋がりで 絶品ベーコンとの出会い

パン屋巡りをする中で、県外から移住してきたという店主が営む出雲市平田町のパン屋に寄ったところ、美味しい「ベーコンエビ」と出会いました。使っているベーコンは出雲大社の直ぐ近くで作られているとのこと。

ぜひ行ってみたいと思い、探してみることにしました。入り組んだ住宅街の中にそれらしい建物を見つけ、ゆっくりと引き戸を開けると、燻製窯の前に座り窯の火をじっと見ている男性。声を掛けてここに来た経緯を話したら奥から奥様らしき女性がパックされた商品を持ってきてくれました。燻製への強い思いを聞かせていただき帰りにベーコンを買って帰りました。これを食べたら他のベーコンは食べられない、と思えるくらい美味しかったです。



島根・鳥取を中心に循環型地域社会の創造を
再生燃料油開発・廃油処理などの分野で目指します。



山陰興業株式会社
SAN IN KOGYO

〒699-0822 島根県出雲市神西沖町2487-5
TEL:0853-43-0159 FAX:0853-43-0147
<http://www.e-skk.co.jp/>

